

近年の浸水被害

H26年8月20日豪雨、H30年7月豪雨

【浸水原因】洪水（破堤）、内水氾濫（河川水位上昇、ポンプ場の能力不足、樋門閉鎖、排水機場の能力不足等）

【被害状況】H26年8月20日豪雨：床上浸水632世帯、床下浸水57世帯、 H30年7月豪雨：床上浸水894世帯、床下浸水978世帯
 ※うち、浸水原因が内水によると思われるものの件数（市へ通報があった件数）

H26年8月20日豪雨：床上浸水 5世帯、床下浸水 6世帯、 H30年7月豪雨：床上浸水 38世帯、床下浸水 46世帯

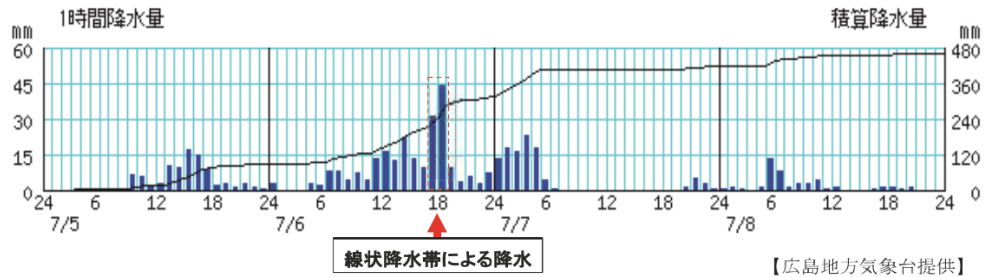


図-3 アメダス降水量（広島 7月5日0時～8日24時）

【図1 H30年7月豪雨の降水量および被害状況】 出典：「H30年7月豪雨災害を教訓とした災害初期対応等の見直し」（平成31年3月）

防災部局と下水道部局との連携

【浸水（内水）ハザードマップの作成・公表】

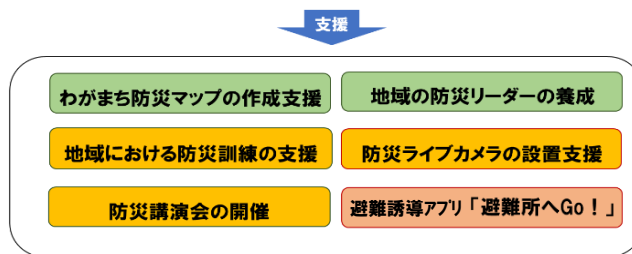
- ・市民自らが浸水の危険度を把握し、被害の軽減につながる対応ができるよう、浸水発生頻度の高い地区から順次作成を進めており、浸水に関する情報、避難に関する情報、市民の皆さまの自助を促進する情報などを掲載した浸水（内水）ハザードマップを公表している。

防災まちづくり事業

土砂災害等により大きな被害をもたらした平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨等に係る寄附金を原資に、広島市では、自助・共助の活動の要となる自主防災組織を支援するための防災まちづくり事業を展開している。

防災まちづくり事業

平成26年8月豪雨及び平成30年7月豪雨に係る広島市への寄附金等を活用して自主防災組織に対する支援を展開。



「我がこと」×地域コミュニティの力＝地域防災力の向上へ！

【図2 防災まちづくり事業の概要】 出典：広島市提供

今回は、防災まちづくり事業のなかでも、ハザードマップを活用した取組である「わがまち防災マップ」をピックアップして紹介する。

自助共助の取組

【わがまち防災マップ】

- ・わがまち防災マップは、地域が主体となって、土砂災害警戒区域等のハザード情報を基に、地域独自の避難場所や避難ルート上の危険情報等を記載して作成する。
- ・浸水被害の経験のある一部地域では、浸水（内水）ハザードマップを参考に作成している。

【わがまち防災マップ作成の流れ】

- ① 地域が区役所や消防署と相談して作成区域を決定
- ② 地域の災害危険性の確認やマップ作成方法などの説明会の開催
- ③ 今後の進め方などを地域で共有
- ④ 図上訓練（DIG）などを活用した地域の防災上の問題点の洗い出し
- ⑤ 危険箇所の目視確認などを行うまち歩き
- ⑥ 「わがまち防災マップ」の作成・印刷
 - ※ ②、④、⑤に係るアドバイザーの派遣及びマップの印刷費を市で支援
 - ※ 広島市に約1,900ある自主防災組織のすべての地域での作成を目指している。



【図3 図上訓練(DIG)】 出典:広島市提供



【図4 まち歩き状況】 出典:広島市提供

浸水被害に対する下水道部局の取組

【止水板設置補助制度】

- ・個人が止水板を設置する場合に、止水板の購入や設置工事にかかった費用の一部を補助する制度を運用している。

促進の工夫

- ・市公式ホームページや市政広報紙で事業内容を紹介している。
- ・区役所等の窓口止水板設置補助金制度のリーフレットを設置している。
- ・全ての自主防災組織に配布する情報誌「自主防災ひろしま」でも、補助制度などの広報を実施している。

止水板で浸水対策をしましょう

浸水被害を受けたことがある、またはその恐れがある場所の建物に、止水板の設置を検討している人は、昨年度から始まった補助制度をご利用ください。

〈止水板とは〉

道路に於て雨水の浸入を防止するため、豪雨時に建物の出入口などに設置するものです。土のうなどと比べて短時間で設置できるため、急な増水にも素早く対応することができます。



〈購入前・工事着手前に申請しましょう〉

補助金を受けるには、以下の補助対象であるか確認の上、申請書と必要書類を提出してください。

【補助対象】 次の①～③全てに該当していること

- ①市内の市街化区域で、過去に浸水被害があった場所や浸水する恐れがある場所
- ②戸建て住宅、マンション、店舗、事務所など
- ③対象となる建物などを所有または使用している人

詳しくは広島市ホームページで

【補助対象】 止水板の購入や設置工事にかかる費用の2分の1 (上限50万円)

記事番号 137012

【申請期間】 令和3年4月1日(木)から令和4年1月31日(月)まで

問合せ先 : 下水道局計画調整課 ☎082-504-2413



【図5 止水板設置補助制度の広報例】 出典:「自主防災ひろしま No. 257」

効果

- ・わがまち防災マップ作成地域数の増加
- ・止水板設置件数の増加（R2年度から補助制度運用）[R2年度：27件、R3年度：19件] など

情報伝達

- ・防災行政無線（聴覚障害者用FAX）、サイレン ・防災情報メール ・市公式ホームページ（市防災ポータル）
- ・市公式Twitter、Facebook ・避難誘導アプリ ・市公式LINE

補助制度

- ・防災まちづくり事業（わがまち防災マップの作成支援、防災リーダーの養成、防災講演会などの開催、防災訓練の支援など）
- ・止水板設置補助制度

参照

- ・防災情報サイト <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/saigaiinfo/>
- ・ハザードマップ <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/saigaiinfo/list1633-3407.html>
- ・防災まちづくり事業 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/saigaiinfo/17887.html>
- ・止水板設置補助制度 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/gesuido/137012.html>
- ・「8.20豪雨災害における避難対策等検証部会最終報告」 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/saigaiinfo/17889.html>
- ・「平成30年7月豪雨における避難対策等の検証とその充実に向けた提言」 <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/saigaiinfo/17819.html>

問合せ先：危機管理室災害予防課（防災まちづくり事業）
下水道局計画調整課（止水板設置補助制度）